

# 老年期の立場と不安

## 施設での満足度

### 高齢化率(老年人口比率)

→65歳以上の人口が総人口に占める割合

- ・平成21年1月
- 総務省人口推計確定値 :22.4%
- ※高齢化社会→7%
- 高齢社会→14%
- ・老年期の変化
- かつては余生といわれていたが……
- 今では人生の4分の1を占める時期

### 老年期の機能・立場の変化

- ・身体面……避けられない現実
- 多くの機能で低下が見られる  
(運動、感覚、内臓)
- ・心理・社会面
- 社会的役割の変化  
(引退、親子間の勢力逆転など)

### 老年期の暮らし1

・心の支えなっている(なっていた)人

- 1位・配偶者あるいはパートナー
- 2位・子供(養子も含む)
- 3位・孫
- 4位・親しい友人・知人
- 5位・子供の配偶者あるいはパートナー

### 暮らしの変化(1)

- ・長年連れ添ってきた配偶者、パートナーがいなくなるというショックは計り知れない。
- ↓
- ・長年生活のリズムの1部となっていた部分がなくなってしまう。
- 精神的なダメージがおおきい。

### 暮らしの変化(2)

- ・色々な思い、社会的変化、喜び、悲しみ
- ↓
- 以上のような思い、気持ちの中で施設・病院に入る生活はどこまで本人に受け入れられるのか。

## 施設での生活で求めること

施設の取り組みとして  
サービスの質や家に近い空間など色々とあげ  
られるが入居者が一番求めているところは  
↓  
やさしい人がいる・親切にしてくれる人がいる

## 施設の現状

入居者からの要望や苦情の約8~9割が接遇  
に関しての内容である。  
職員が優しく、親切であるということが施設の  
満足度又は第三者(家族含め)の信頼度や  
評価につながっているのが現状である。

以上のように接遇や対応のしかたが入居者  
の満足度につながっており、施設としての取り  
組みが重要になってくると考える。